



«CRD-BS公表レポート»

CRD法人データベースを用いた
ローカルベンチマークとMcSSの関係性分析（簡易版）

CRDビジネスサポート株式会社

2022年 3月

はじめに

- ✓ 企業の決算内容は、税務申告のみではなく、金融機関における融資判断局面や経営支援業務等において財務分析がなされ、経営状態の把握にも用いられています。財務分析の手法は様々ですが、経済産業省では「ローカルベンチマーク」というツールを公表する中において、6つの指標を用いた財務の総合評価点を算出する仕組みを設けています。ローカルベンチマークは政府の各種施策との連携、補助金等の申請にも利用されており、財務分析の標準的なツールの一つとされつつあります。
- ✓ 一方、CRDビジネスサポート株式会社が提供する「McSS：中小企業経営診断システム」は、大量のデータをもとに構築した統計モデルを用い、客観的な評価を行うことができるツールです。全国の信用保証協会と多くの金融機関が業務において活用しています。
- ✓ 本レポートは、中小企業の財務分析を実施するのに有用なツールである、「ローカルベンチマーク」と「McSS」について比較し、一般社団法人CRD協会が管理する中小法人財務データベース※が保有する400万件超（2015～2019年分）のデータを用いて分析した結果を取りまとめたものです。

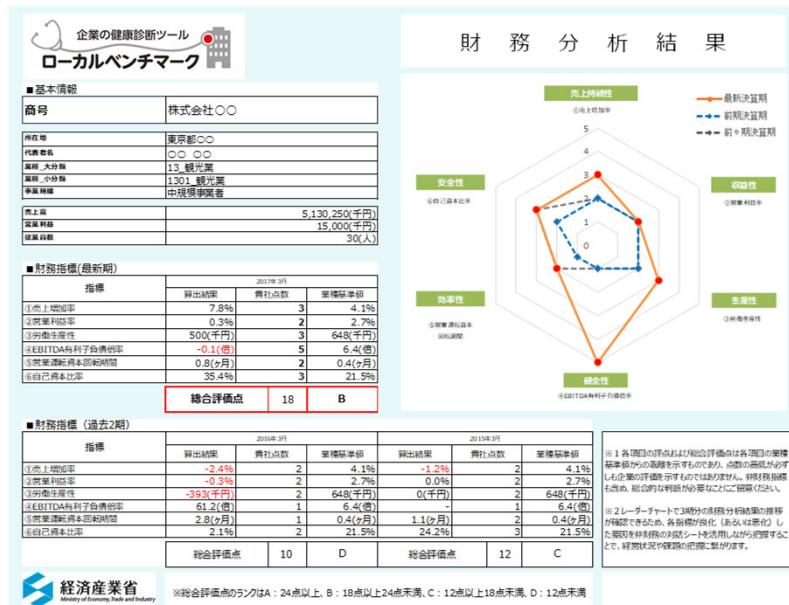
※CRD協会のデータベースは、約170の金融機関・信用保証協会が利用する国内最大級の信用リスクデータベースです。

本レポートは公表用の簡易版として、分析の一部を紹介するものです。分析の全編は、別途有償で提供するレポートでご覧いただけます。詳細は、末尾の頁をご参照ください。

ローカルベンチマーク（通称：ロカベン）とは

- ローカルベンチマークは、経済産業省が2015年度に策定した、企業の経営状態の把握を行うための枠組みです。経済産業省のホームページ*には「ローカルベンチマークは政府の各種施策と連携しており、各種補助金等の申請にも活用」と記載されています。
- ローカルベンチマークの内容は、財務分析と非財務分析から構成されており、財務分析では売上持続性・収益性・生産性・健全性・効率性・安全性の6つの観点で、それぞれ1つずつ対応させた財務指標を算出し、点数化しています。

【ロカベン財務分析イメージ（ロカベンツールより）】



【ロカベン財務分析：使用財務指標】

売上持続性	売上増加率	(最新期売上高／前期売上高) - 1
収益性	営業利益率	営業利益／最新期売上高
生産性	労働生産性	営業利益／従業員数
健全性	EBITDA 有利子負債倍率	(借入金 - 現金・預金) / (営業利益 + 減価償却費)
効率性	営業運転資本 回転期間	{(売上債権 (売掛金 + 受取手形) + 棚卸資産 - 買入債務 (買掛金 + 支払手形)) / (売上高 / 12)}
安全性	自己資本比率	純資産 / 負債・純資産合計

算出した数値に対して業種・規模毎に定義した閾値を用いて配点（1～5）し、6指標の合計値（6～30点）に対して、

A : 24点以上 / B : 18～23点 / C : 12～17点 / D : 11点以下
と定義して評価している。

★ローカルベンチマークの詳細については経済産業省のホームページ

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/
をご参照ください。

McSS（中小企業経営診断システム）とは

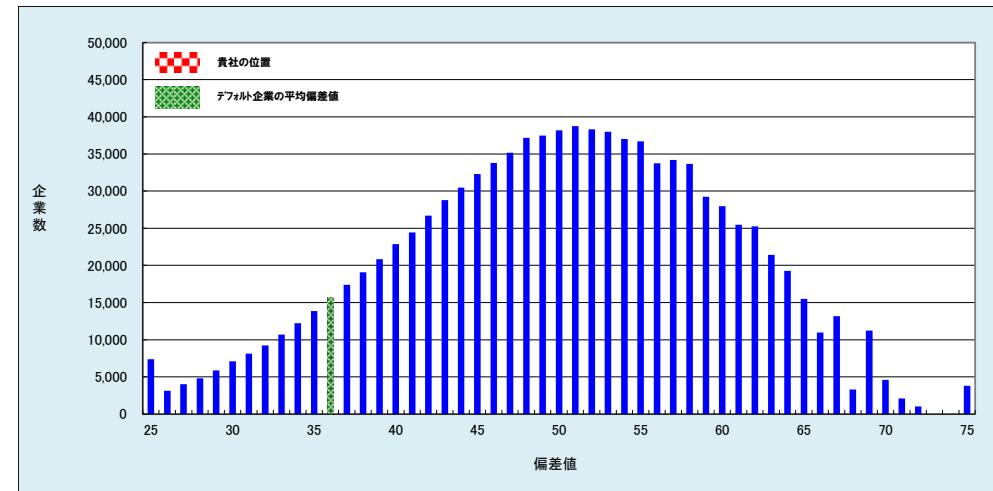
- McSS（Management consulting Support System）は、CRDビジネスサポート株式会社が提供する財務診断ツールです。
総合的な財務の評価に、信用保証制度における法人の信用保証料率算定に利用されている財務評価モデル「CRDモデル3」を用いています。全国の信用保証協会、および多くの金融機関に、ご活用をいただいている。
- また、McSSでは、CRDビジネスサポート株式会社の親会社である一般社団法人CRD協会が蓄積・管理する、年間約100万件に上る日本全国の中小企業の財務情報が集積するデータベース*を活用した多面的な分析結果が確認できます。

【CRDモデル3：評価のカテゴリー】

評価のカテゴリー	代表的な財務指標名
資本の安定性	自己資本比率、純資産倍率 など
調達と運用の適合性	固定長期適合率、固定比率 など
成長性	前年比増収率、総資本増減率 など
売上高利益	売上高経常利益率、売上高総利益率 など
資産の健全性	減価償却率、売上高減価償却費率 など
短期支払能力	現預金比率、流動比率 など
回転率・回転期間	総資本回転率、売上債権回転日数 など
総合収益性	総資本経常利益率、総資本営業利益率 など
債務償還能力	キャッシュフロー有利子負債比率、インタレストカバレッジレシオ など
借入状況	借入金月商倍率、借入金依存度 など

*中小企業の財務データは匿名で収集されています。

【McSS財務分析イメージ（総合評価）】



CRDランク (A~E)	貴社 偏差値
E	36

入力された財務データから算出したCRDモデル3の推計PDを、CRDの中小法人財務データベースと比較して「偏差値」を算出。その偏差値に対し、実際のデフォルトの発生状況をベースに定義する「CRDランク（5区分：A~E）」を割り当てて評価。

ローカルベンチマークとMcSSの特徴比較

□ ローカルベンチマークの財務分析の特徴は、

- 入力項目が厳選されていて利用しやすい
 - 財務指標数も6つに絞り込まれており構造が理解しやすい
- という点が挙げられます。

簡易な情報を活かした企業との対話において、ドアノックツールとして利用するのに適切です。

□ McSSの特徴は、

- 精緻な入力項目と十分な比較データを用いた精度の高い評価が取得可能
 - 財務指標を多面的に複数利用した詳細な説明が可能
 - 年次での精度検証により品質が保証されており評価の信憑性が高い
- という点が挙げられます。

信用評価も含めた本格的な企業対話局面において十分に活用可能であり、経営支援計画の策定などでも有効です。

分析概要・分析データの外観

- 本分析では、一般社団法人CRD協会の法人財務データベースを用い、ローカルベンチマークの評価結果とMcSSの評価結果を比較しました。
- 分析内容は、評価結果の分布(①)とデフォルト予測順位精度(②)を比較し、評価の相関(③)を確認し連動性についても示します。また、次頁に示す業種別・規模別の集計結果も、付録として記載します。
※公表レポートでは①のみの記載となっています。
- 分析に用いたデータの外観は以下の通りです。5年分のデータ400万件超を利用しました。デフォルト(DF)は「決算後12か月以内に『3か月以上延滞』or『実質破綻』or『破綻』or『代位弁済』が発生したもの」と定義して用いています。

【分析利用データ件数】

決算年	決算書数	うちDF
2015年	810,671	7,391
2016年	799,115	6,755
2017年	779,089	6,175
2018年	789,231	6,200
2019年	832,632	5,536
合計	4,010,738	32,057

2021年9月時点でのデータを利用。ローカルベンチマークの指標算出定義に合わせる形でデータ整備を実施済み。
(この結果、年毎の決算書数が100万件を下回った。)

分析データの外観（業種・規模別件数）

- 前頁で示した分析データを、ローカルベンチマークが定義する業種毎・規模区分毎に集計した結果を以下に示します。

【ロカベン業種(大)集計】

ロカベン業種_大	決算書数	構成比
01_農業	18,213	0.5%
02_建設業	900,499	22.5%
03_製造業	683,039	17.0%
04_卸売業	501,288	12.5%
05_小売業	406,034	10.1%
06_飲食業	141,941	3.5%
07_不動産業	315,873	7.9%
08_運輸業	169,617	4.2%
09_エネルギー	8,552	0.2%
10_サービス業	701,207	17.5%
11_医療業	64,687	1.6%
12_保健衛生、廃棄物処理業	33,261	0.8%
13_観光業	18,958	0.5%
14_その他	47,569	1.2%
All	4,010,738	100.0%

【ロカベン業種(小)集計】

ロカベン業種_小	決算書数	構成比(全体比)
0301_食料品・飼料・飲料製造業	81,653	2.0%
0302_化学工業・関連製品製造業	22,037	0.5%
0303_鉄鋼業、非鉄金属製造業	22,181	0.6%
0304_金属製品製造業	108,637	2.7%
0305_一般・電気機械器具製造業	141,835	3.5%
0306_その他の製造業	306,696	7.6%
0401_化学製品卸売業	24,902	0.6%
0402_繊維関連製品卸売業	45,018	1.1%
0403_食料品卸売業	94,412	2.4%
0404_その他の卸売業	336,956	8.4%
1001_物品賃貸業	23,536	0.6%
1002_娯楽業	39,450	1.0%
1003_広告・調査・情報サービス業	83,548	2.1%
1004_事業サービス業	90,219	2.2%
1005_専門サービス業	117,856	2.9%
1006_その他のサービス業	346,598	8.6%

【ロカベン規模区分集計】

規模区分	決算書数	構成比
中規模事業者	1,362,119	34.0%
小規模事業者	2,648,619	66.0%
合計	4,010,738	100.0%

分析結果①：評価結果の分布

- ローカルベンチマークの財務分析における最終評価であるA～Dの区分（以後、ロカベンAtoDと記載）と、McSSの現状診断で示すCRDランク（A～E）について、対象データの分布と実績デフォルト率を示します。
- ロカベンAtoDの分布は、最高評価のAと最低評価のDの構成割合が低く、中評価であるBとCの割合が高くなります。
- 一方、CRDランクは評価の低い区分であるEおよびDの構成割合は低くなるように設定されています。
- 実績デフォルト率(DF率)は、ロカベンAtoDの最高評価AとCRDランクの最高評価Aを比べると、データの構成割合が高いにもかかわらずCRDランクAにおける実績デフォルト率が低く、デフォルトリスクに対してより精緻な判別がなされていることがわかります。

【ロカベンAtoDによる分布と実績DF率】

	決算書数	構成比	うちDF	DF率
A	335,567	8.4%	418	0.12%
B	1,543,390	38.5%	4,887	0.32%
C	1,516,647	37.8%	12,384	0.82%
D	615,134	15.3%	14,368	2.34%
合計	4,010,738	100.0%	32,057	0.80%

【CRDランクによる分布と実績DF率】

	決算書数	構成比	うちDF	DF率
A	996,997	24.9%	632	0.06%
B	1,029,278	25.7%	1,633	0.16%
C	1,082,278	27.0%	4,827	0.45%
D	511,471	12.8%	6,386	1.25%
E	390,714	9.7%	18,579	4.76%
合計	4,010,738	100.0%	32,057	0.80%

引き続きの詳細な分析について

- 以降の詳細な分析結果（デフォルト予測順位精度・評価の相関・業種/規模別集計）は、McSSの関連商品「CRD法人データベースを用いたローカルベンチマークとMcSSの関係性分析_詳細版」にて、ご覧いただけます。
- McSS関連商品の購入には、McSSのID申込（無料）とポイント購入が必要です。具体的な手順は [McSSポータル：CRDビジネスサポート株式会社 \(crd-office.net\)](http://crd-office.net) をご参照ください。



新規ID申込は
こちらから

新規ID申込後の
手続きはこちらを
ご参照ください

CRD-Bs CRDビジネスサポート株式会社

会社案内 商品・サービス 活動・取り組み CRDについて リンク 事業パートナー募集

TOP > 商品・サービス > McSS (中小企業経営診断システム)

McSSポータル

McSS（中小企業経営診断システム）のポータルページです。

サービス利用開始をご希望の方は、[スタートアップガイド](#)をご覧ください。
お問い合わせにつきましては、[専用フォーム](#)にて承っております。（よくあるご質問（FAQ））

■ アプリケーション
■ ログイン
■ 新規ID申込
■ ご利用条件

McSS ログイン画面はこちら

McSS 新規 ID 申込はこちら

McSS 新規 ID 申込はこちら

新規ID申込

ご利用条件

ID申込に際しては、以下のいずれかに該当することが条件となります
(1) 法人、公共団体（法人名、団体名でのID登録が可能です）
(2) 個人事業主、会計士、税理士、中小企業診断士、IT コーディネーター

利用範囲は、上記の事業又は業務の目的による利用に限ります
個人の私的利用、および学術研究用途でのご利用は対象外となります。（左記用途にて利用をご希望の方は、[専用フォーム](#)よりお問い合わせください）

McSSポータル

サービス案内
スタートアップガイド
利用規約・料金表
システム要件
バージョンアップ情報
搭載データ情報
企業評価ポリシー
プライバシーポリシー
よくあるご質問（FAQ）
お問い合わせフォーム

+ 紹介動画
+ 導入事例
+ 関連商品購入ガイド